第63期報告書

平成25年4月1日 ▶ 平成26年3月31日



CONTENTS

トップメッセージ	PO
部門別の概況·財務ハイライト	· ···· P02
トピックス	P03~04
連結財務諸表	
財務諸表	
会社概要	PO
株式の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P08
製品紹介	P09~10



蓉鶴見製作所

証券コード:6351

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り有難 く厚くお礼申しあげます。

さて、ここに第63期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の成 長戦略に基づいた経済政策や日本銀行による金融緩和 政策を背景に、円安及び株価上昇が進行し、企業にお ける輸出や生産活動に持ち直しの動きや収益の改善が 見られました。

しかし一方では、円安による輸入原材料価格の上昇や電気料金の値上げ、個人消費の低迷など、景気の下押しリスクが依然として存在しました。

また海外においては、欧州金融不安や米国の量的金融緩和縮小による影響、新興国の経済成長の鈍化など、世界経済の下振れリスクも懸念され、その先行きに不透明な状況が続きました。

このような状況の中で当社グループは、中期3ヶ年経営計画「Acceleration2015」の2年目として設定した課題の確実な履行により目標を達成すべく進めました。

国内部門では、建設機械市場におきまして、引き続き東日本大震災の復興関連工事及び公共工事の増加に伴い、工事用水中ポンプ、タイヤ洗浄機、高圧洗浄機及び節電・省エネタイプの水中ポンプなどの売上が好調に推移しました。

また相次ぐゲリラ豪雨の浸水被害の復旧作業向け に汎用水中ポンプ、ゲリラ豪雨対策の雨水排水設備向 けに大容量タイプの中・大型水中ポンプなどの需要が 大幅に増加しました。

設備機器市場におきましては、工具工場向け商品の売上は堅調に推移し、浄化槽関連向けの汎用水中ポンプの売上もほぼ前年並みで推移しましたが、プラント関連向け商品の売上は減少しました。

また管材関連向けの汎用水中ポンプや官公庁向け 案件の売上も堅調に推移しました。

海外部門では、北米市場におきまして、世界的な鉱物資源の需要の減少に伴い、鉱山市場の需要が低下しましたが、ビル設備を含む建設市場での需要が好調に推移し、その影響によりレンタル市場も活性化されました。

アジア市場におきましては、建設インフラ整備の 需要の増加により、全般的に売上は堅調に推移しました。 これらの結果、当連結会計年度の売上高は、383億65百万円と前連結会計年度比9.2%の増収、営業利益は、44億12百万円と前連結会計年度比52.5%の増益、経常利益は、50億31百万円と前連結会計年度比32.5%の増益、当期純利益は、30億24百万円と前連結会計年度比27.3%の増益となりました。

なお、当期末の配当金につきましては、普通株式 1 株につき8円とし、特別配当として2円、また創業 90周年を迎えましたことから、記念配当として5円を加算し、15円とさせていただきました。

これにより、中間配当金(1株につき8円)を含めました当期の年間配当金は1株につき23円となります。

今後の経済見通しにつきましては、震災復興需要 や輸出の好調を背景に景気は引き続き回復傾向で推移 すると思われますが、消費税増税による個人消費への 影響や、欧米諸国の財政不安、円安による原油を始め とした原材料価格の高騰など、まだまだ予断を許さな い厳しい経営環境が続くものと思われます。

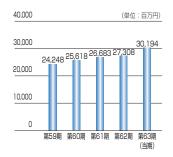
そのような状況の中で当社グループにおきましては、引き続きグローバルな市場において環境改善に貢献する省エネ・高効率・低コストの環境技術を提案し、ユーザーニーズに常に迅速に対応できる体制を創り、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご 支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

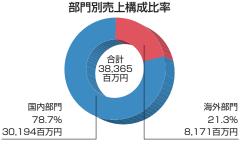


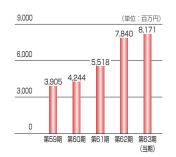
平成26年6月 代表取締役社長 代表取締役社長

●国内部門









国内部門につきましては、建設機械市場におきまして、レンタル業者向けを中心に引き続き東日本大震災の復興関連工事及び公共工事の増加に伴い、工事用水中ポンプ、タイヤ洗浄機、高圧洗浄機及び節電・省エネタイプの電極式自動運転ポンプや低水位排水用水中ポンプの売上が好調に推移しました。

また相次ぐゲリラ豪雨の浸水被害による復旧作業向けの汎用水中ポンプ及びゲリラ豪雨対策の雨水排水設備向けに大容量タイプの中・大型水中ポンプの需要が高まるなど、前年同期に比べ売上は大幅に増加しました。

設備機器市場におきましては、工具工場向け商品は設備投資の 国内から海外へのシフトにより厳しい状況下にありましたが、売 上は堅調に推移し、浄化槽関連向けの汎用水中ポンプもほぼ前年 並みで推移しました。

プラント関連向け商品の売上は減少しましたが、管材関連向けの汎用水中ポンプは、住宅関連の好調さもあり、売上は増加しました。

また官公庁向け案件の売上も堅調に推移しました。

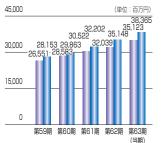
これらの結果、売上高は、301億94百万円と前連結会計年度 比10.6%の増収となりました。 海外部門につきましては、北米市場におきまして、世界的に鉱物資源の需要が減少傾向にあり、鉱山市場の需要が低下したことで売上に大きな影響を受けましたが、ビル設備を含む建設市場での需要が好調に推移し、その影響によりレンタル市場も活性化されました。

アジア市場におきましては、特にシンガポール、インドネシア、香港での建設インフラ整備の需要の増加により、全般的に売上は堅調に推移しました。

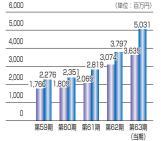
これらの結果、売上高は、81億71百万円と前連結会計年度比4.2%の増収となりました。

単体連結

●売上高



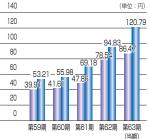
●経常利益



●当期純利益



●1株当たり当期純利益



納入事例

福岡営業所

小規模排水処理設備を巡回脱水する移動脱水車設備として

佐賀県小城市へ移動脱水車を納入いたしました。

過去に多重板型スクリュープレス脱水機MDQ型搭載タイプの移動脱水車を納入した実績から多くの技術蓄積があり、その技術に基づいた提案を行った結果、提案内容が認められ受注にいたりました。

今回納入の移動脱水車は小城市、佐賀市の公共下水/農業集落排水処理場7ヶ所を巡回し脱水処理を行うのですが、各処理場の汚泥性状は大きく異なります。運転管理を簡易にするために、汚泥サービスタンクに濃度計を設け、濃度計からの信号により補機類の運転制御を行います(固形物一定制御)。また制御盤面にはタッチパネルを採用、各機器の操作はもちろんのこと、運転状況をパネル面で目視できるようにしています。



移動脱水車設備 多重板型スクリュープレス脱水機 MDC型搭載移動脱水車

納入機器仕様

脱水機搭載車両:6t車

<搭載脱水機仕様>

多重板型スクリュー プレス脱水機: MDC-352S (特殊仕様)

スクリュー軸×本数:φ350スクリュー軸×2本

処理能力:100kgDS/h含水率:80%以下

多重板型 スクリュープレス脱水機 **MDC型**

WIDOE

本体・補機類を4t車に搭載。 MD型シリーズ搭載タイプの 動画をご覧いただけます。

過去納入実績ご紹介









納入事例

仙台営業所

雨水排水・高潮排水機場増設ポンプとして納入

近年多発する局地的集中豪雨、いわゆるゲリラ豪雨対策として 排水機場にポンプを増設することとなりました。今回の納入地 区は海岸に近く、揚水の液質が海水または海水と淡水が混ざり 合う汽水となっています。当初計画では揚水対象を淡水とした 標準仕様品であり、またモータも海水に露出するなど海水によ るポンプ腐食を考慮されていませんでした。そこで弊社の海水 によるポンプ腐食を防ぐ防食技術及び多くの納入事例をご紹介 した結果、高く評価いただき今回、海水に強い耐海水仕様でモータ強制冷却タイプのポンプを納入するにいたりました。



雨水排水設備 水中ノンクロッグポンプ(耐海水仕様)

納入機器仕様

型 式: TOS350BK630(耐海水仕様)

台 数:1台 吐出し口径:350mm 出 カ:30kW 全 揚 程:7.5m 吐出し量:15㎡/min





●連結貸借対照表の要旨

(}) 	- .		$\overline{}$	\Box	1
(1111	\ /	ш.	\neg	ш.	1

			(単位・日月日)
	科目	前 期	当 期
_		(平成25年3月31日現在)	(平成26年3月31日現在)
_	資産の部		
	流動資産	27,557	32,499
	固定資産	24,364	25,415
	有形固定資産	11,722	11,819
	無形固定資産	613	670
	投資その他の資産	12,029	12,926
Point 1	資産合計	51,921	57,915
	負債の部		
-	流動負債	8,264	11,193
-	固定負債	2,846	1,989
Point 2	負債合計	11,111	13,182
	純資産の部		
-	株主資本	39,784	42,352
-	資本金	5,188	5,188
-	資本剰余金	7,896	7,896
-	利益剰余金	29,092	31,666
-	自己株式	△ 2,392	△ 2,399
-	その他の包括利益累計額	556	1,685
-	その他有価証券評価差額金	699	1,199
-	繰延ヘッジ損益	1	_
-	為替換算調整勘定	△ 144	512
-	退職給付に係る調整累計額	_	△ 26
-	少数株主持分	469	694
Point 3	純資産合計	40,810	44,732
	負債純資産合計	51,921	57,915

Point① 資産合計

資産につきましては、57,915百万円と、前連結会計年度末に比べ5,993百万円増加しました。

これは、主に現金及び預金の増加1,796百万円と受取手形及び売掛金の 増加2,186百万円及び投資有価証券の増加784百万円によるものです。

●連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

		(丰田・ロ/川 川
科目	前 期 (平成24年4月1日から) 平成25年3月31日まで)	当期 (平成25年4月1日から) 平成26年3月31日まで)
売上高	35,148	38,365
売上原価	24,690	26,028
売上総利益	10,458	12,337
販売費及び一般管理費	7,565	7,925
営業利益	2,893	4,412
営業外収益	1,044	727
営業外費用	140	108
経常利益	3,797	5,031
特別利益	139	_
税金等調整前当期純利益	3,936	5,031
法人税、住民税及び事業税	1,640	1,971
法人税等調整額	△ 160	△ 106
少数株主損益調整前当期純利益	2,456	3,167
少数株主利益	80	142
当期純利益	2,375	3,024

●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

		(+12.11)
	前 期	当 期
科目	(平成24年4月1日から)	(平成25年4月1日から)
	(平成25年3月31日まで)	平成26年3月31日まで/
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,713	2,535
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,940	△ 468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 83	△ 565
現金及び現金同等物に係る換算差額	403	294
現金及び現金同等物の増減額	93	1,796
現金及び現金同等物の期首残高	3,787	4,170
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	289	_
現金及び現金同等物の期末残高	4,170	5,967

Point② 負債合計

負債につきましては、13,182百万円と、前連結会計年度末に比べ 2,071百万円増加しました。

これは、主に支払手形及び買掛金の増加922百万円とその他流動負債の増加679百万円によるものです。

Point ③ 純資産合計

純資産につきましては、44,732百万円と、前連結会計年度末に比べ 3,921百万円増加しました。

これは、主に利益剰余金の増加2,574百万円とその他有価証券評価差額金の増加499百万円及び為替換算調整勘定の増加656百万円によるものです。

●貸借対照表の要旨

評価・換算差額等

繰延ヘッジ損益

純資産合計

負債純資産合計

その他有価証券評価差額金

期 当 期 前 科 (平成25年3月31日現在) (平成26年3月31日現在) 資産の部 流動資産 22.976 25.663 固定資産 23,776 24,788 9.887 9.862 有形固定資産 無形固定資産 312 334 13.576 投資その他の資産 14.591 資産合計 46,753 50,452 負債の部 流動負債 7,400 9,766 固定負債 2,741 1,904 負債合計 10,142 11,670 純資産の部 35,909 37,618 株主資本 資本金 5.188 5,188 資本剰余金 7.896 7.896 利益剰余金 25,217 26,931 自己株式 △ 2,392 △ 2.399

701

699

36,610

46.753

1

1,163

1,163

38,781

50.452

●損益計算書の要旨

(単位:百万円)

(単位:百万円)

		(十四・ロノコ) コ/
科目	前 期 (平成24年4月1日から) (平成25年3月31日まで)	当期 (平成25年4月1日から) 平成26年3月31日まで)
売上高	32,039	35,123
売上原価	23,526	25,524
売上総利益	8,512	9,598
販売費及び一般管理費	6,311	6,556
営業利益	2,201	3,042
営業外収益	973	688
営業外費用	100	95
経常利益	3,074	3,635
特別利益	139	_
税引前当期純利益	3,213	3,635
法人税、住民税及び事業税	1,341	1,535
法人税等調整額	△ 94	△ 65
当期純利益	1,967	2,165

ホームページのご案内

http://www.tsurumipump.co.jp/



会社案内をはじめとしてIR情報、採用情報及び製品情報など 様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

商 号 株式会社 鶴見製作所 TSURUMI MANUFACTURING CO.,LTD.

創業 大正13年(1924年)1月5日 設立 昭和23年(1948年)2月12日

資本金 51億88百万円 従業員 930名(グループ計)

(注) 従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

●主要な事業内容

当社グループは、水中ポンプを主力とした各種ポンプとその 関連機器の製造、仕入及び販売(輸出入を含む)並びに賃貸 を行っており、それに附帯する修理及びアフターサービス並 びに機械器具設置工事業、土木工事業、電気工事業、管工事 業、水道施設工事業、清掃施設工事業、鋼構造物工事業、固定 資産のリース業の事業活動を展開しております。

●役 員

治 代表取締役社長 辻 本 \mathbb{H} 章 取締役副社長 TF 取締役常務執行役員 上 英 取締役執行役員 中 襾 寬 取締役執行役員 片 桐 健 取締役執行役員 \blacksquare 中 静 夫 取締役執行役員 \blacksquare 勝 野 執 行 役 員 髙 井 優 執 行 役 員 窪 泰 人 執 行 役 下 \mathbb{H} 剛 中 行 埶. 役 員 兀 村 斌 幸 役 浩 埶. 行 員 織 \mathbf{H} 典 埶 行 役 員 Ш īF 鞠 緥 行 役 \blacksquare 執 員 Ш 晴 夫 澤 常 勤 監 杳 役 瞖 駒 監 役 杳 Ш 雅 掛 杳 役 内 茂 行

(注)監査役掛川雅仁氏及び鹿内茂行氏は、会社法第2条第16 号に定める社外監査役であります。

●主要な営業所及び工場 ☞ 538-8585 大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号 ☎ (06)6911-2351(代) 東京本社 ₩ 110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号 ☎ (03)3833-9765(代) 京都工場 ® 614-8163 京都府八幡市上奈良長池1番1号 ☎ (075)971-0831 米子丁場 ☞ 683-0851 鳥取県米子市夜見町2700番地 **2** (0859)29-0811 北海道支店 ● 065-0020 札幌市東区北20条東17丁目1番5号 **2** (011)787-8385 東北支店 ® 984-0042 仙台市若林区大和町4丁目9番11号 ☎ (022)284-4107 ѿ 110-0016 東京都台東区台東1丁目33番8号 東京支店 **☎** (03)3833-0331 ☞ 370-0046 群馬県高崎市江木町1716番地 1 北関東支店 **☎** (027)310-1122 曇 920-0059 石川県金沢市示野町西8番地 北陸支店 **2** (076) 268-2761 中部支店 ₩ 453-0853 名古屋市中村区牛田通2丁目19番地 **2** (052)481-8181 近畿支店 ☞ 538-0054 大阪市鶴見区緑2丁目1番28号 **☎** (06)6911-2311 中国支店 ☞ 731-5132 広島市佐伯区吉見園1番21号 **2** (082)923-5171 四国支店 ☞ 761-8075 香川県高松市多肥下町1554番地28 **☎** (087)815-3535 九州支店 ☞ 812-0004 福岡市博多区榎田2丁目9番地30号 ☎ (092)452-5001

営業所

13.7.7.1 札幌·旭川·仙台·青森·郡山·盛岡·山形·秋田·高崎·宇都宮·長野·新潟·東京第一·東京第二·千葉·横浜·大宮·名古屋第一·名古屋第二·静岡·岐阜·沼津·金沢·富山·福井·大阪第一·大阪第二·京都·滋賀·阪奈·和歌山·神戸·姫路·北近畿·広島·岡山・山口・米子·高松·松山·福岡·熊本·鹿児島・大分·宮崎・沖縄

●子会社及び関連会社

No.11/Jalan PJU3/49,Sunway Damansara Technology Park,47810 Petaling Jaya,Selangor Darul Ehsan,Malaysia TSURUMI VACUUM ENGINEERING(SHANGHAI)CO.,LTD. 286-21-5724-2030 中華人民共和国上海市金山区金山嘴工業区衛清東路2000号

SHANDONG TSURUMI HONGQI ENVIRONMENTAL TECHNOLOGY CO.,LTD. ☎86-536-2968068中華人民共和国山東省濰坊濱海経済技術開発区海恵路29号

HANGZHOU CNP-TSURUMI PUMP CO.,LTD. ☎86-571-88517209 中華人民共和国浙江省杭州市余杭区径山鎮小古城村

PT. TSURUMI POMPA INDONESIA

Mega Glodok Kemayoran Lt. UG Blok A5 No.1-2,Jl. Angkasa Kav. B-6,Jakarta Pusat 10610,Indonesia

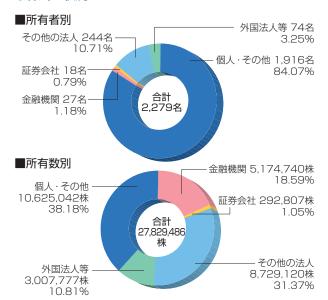
- ●発行可能株式総数
- ●発行済株式の総数

●株 主 数 ●大 株 主 100,000,000株 27,829,486株 2,279名

株	主 名		持株数 (千株)	持株比率 (%)
有 限 会	社ツルミ	ミ 興 産	1,930	7.71
ツル	三共	栄 会	1,547	6.18
株式会	社 三井住	友銀行	1,242	4.96
日本トラスティ・サ	ナービス信託銀行株式	会社(信託口)	986	3.94
株式会	社 三菱東京	UFJ銀行	700	2.80
デンヨ	一 株 式	会 社	648	2.59
THE BANK OF NEV	W YORK-JASDECTREA	TY ACCOUNT	609	2.43
鶴見製作	下所 社員	持 株 会	558	2.23
株式会	社 有 伸	興 産	518	2.07
STATE STREET BA	NK AND TRUST COMF	PANY 505103	466	1.86

(注) 当社は自己株式2,789千株を保有しておりますが、上記 大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を 控除して計算しております。

●株式の状況





株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定 時 株 主 総 会 毎年6月開催

基 準 日 定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじ め公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続ができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

株主名簿管理人及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株 主 名 簿 管 理 人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 事 務 取 扱 場 所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵 便 物 送 付 先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電 話 照 会 先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(インターネットホームページURL) http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公 告 方 法 当社のホームページに掲載します。
http://www.tsurumipump.co.jp/ir/
announce/index.html

上 場 取 引 所 東京証券取引所市場第一部

NETIS登録の新技術で 各種工事に対応。

国内はもちろん世界中で、その性能が認められた ツルミの商品は NETIS に登録されるなど活躍フィールドが無限に拡がっています。



〈電極式自動運転ポンプ〉 NETIS登録番号:No.CG-110036-A 〈自動アイドリングストップ機能付きエンジン式高圧洗浄機〉 NETIS登録番号:No.CG-140002-A



工事排水用 水中ハイスピンポンプ

LBA型

吐出し口径:40·50mm 相·電圧:単相100V 出力:0.25·0.48kW 全揚程:6·8m 吐出し量:0.1·0.12m³/min



工事排水用 水中ハイスピンポンプ

HSE型

吐出レ口径:50mm 相・電圧:単相100V 出力:0.4kW 全揚程:8m 吐出し量:0.1m³/min



工事排水用 水中泥水ポンプ

HSDE型

吐出し口径:50mm 相・電圧:単相100V 出力:0.55kW 全揚程:9m 吐出し量:0.1m³/min



工事排水用 水中ハイスピンポンプ

KTVE型

吐出し口径:50~100mm 相・電圧:三相200V 出力:0.75~5.5kW 全揚程:10~22m 吐出し量:0.18~0.6m³/min



低水位排水用 水中ハイスピンポンプ

LSCE型

吐出し口径:25mm 相・電圧:単相100V 出力:0.48kW 最高排出揚程:11m(50Hz) 12m(60Hz)



低水位排水用 水中ハイスピンポンプ

LSRE型

吐出し口径:50mm 相・電圧:単相100V 出力:0.48kW 全揚程:8m 吐出し量:0.12m³/min



残水吸排水用スイープポンプ

LSPE型

吸込×吐出し口径:25×25mm 相-電圧:単相100V 出力:0.48kW 最大吐出し揚程:8m(50Hz)·9m(60Hz) 最大吐出し水量:0.06m³/min



高圧洗浄機(エンジン防音)

HPJ-5ESMA型

連続定格出力:3.7kW{5.0PS}/1800min⁻¹ 圧力:7.8MPa{80kgf/cm²} 吐出し量:21.2ℓ/min

アイドリング ストップ仕様 /



Amenics (アメニクス) とは、

Amenity (快適) と工学を表す接尾語 -ics を 合体させた、ツルミのオリジナルキーワードです。

人に気持ちよく、都市に心地いい、 地球にやさしい技術の提唱を宣言したものです。

Amenics の4つのコンセプト







地球環境保護のために 植物油インキを使用し ています。